



新たな体験から生まれたもの

生徒のみなさんへ

2学期も終盤を迎えました。さまざまな行事や取組が行われ、皆さんにとってたくさんの学びや成長が生まれた貴重な期間となったことと思います。そこで、それら学びの軌跡をこれから振り返っていきたいと思います。

● 農村民泊体験学習 ●

2年生は10月18日から2泊3日で、大分県の国東半島（豊後高田市、国東市）にて農村民泊体験学習を実施しました。ここ2年間はコロナの影響により中止となっていたので、久しぶりに行うことができました。この学習は、キャリア教育の一環として2学年で取り組まれており、農業や農村生活を通して、日頃の生活とは異なったもう一つの生活を体験します。農村生活そのものに入り込み、制限された時間内にメニューを消化するのではなく、ゆっくりと流れる時間の中で、受け入れ家族と一緒に収穫した自家製野菜や自然の恵みを食べながら語り合い、家族のように過ごします。



説明会で決意を語る委員長の木戸さんと実行委員の皆さん



【左】開村式での受け入れ家庭との対面。【中央】そば打ちに挑戦！繊細な技が必要です。【右】たくさん果樹を植樹しました。

この体験学習は、2年生の皆さんにとっては中学校生活初めての宿泊を伴う学習の機会となりました。まず私は皆さんが設定したスローガン「農泊 Three 感 ～感謝・感動・実感～」に感心しました。皆さんが「感じる」ことを大切にしていることが伝わってきます。この学習を単なるイベントの一つとして参加するのではなく、自分自身の力でしっかりとした意味や価値を見つけようとする意思が感じられたのです。

農泊体験は今までの生活とは違った「感じる」「発見する」「知る」「考える」「食べる」「つくる」「出会う」「関わる」ことの連続です。今の生活と全く異なる環境での様々な出来事により、農村の方々の生き方や、命の源である食生産を担う農業の役割について考える機会になったことでしょう。また、農業に限らず、皆さんが将来働くことの意味や生き方を考える機会にもなったはずです。



【左】シャインマスカットを収穫しデザートづくりに挑戦。【左中央】さつま芋の収穫に奮闘中。抜くことにもコツが必要です。【右中央】収穫した米を天日に干すのは重労働です。【右】よもぎ饅頭を作りました。柿とイチジクも一緒に添えてしばし休憩時間です。



【左】落花生を収穫し、葉や茎、泥を落とし天日に干します。地道な作業です。【中央】さつま芋をたくさん収穫し、これから作業場へ向かいます。掘った後の処理も学びました。【右】コメを研ぎ、ご飯をかまどで炊き上げます。釜で炊いたご飯の味は格別！

2年〇組 〇〇 〇〇 さん

（前略）みかん山は地面が斜めになっている場所が多いので、足場が不安定でとても作業がしづらかったです。一日働いただけでもすごく疲れたのに、農家の方はそれを毎日やられていることに尊敬しました。（中略）地域の方と一緒に作業をしたり、おやつを食べたり、お話ししたりたくさん関わり合って楽しかったです。普段では絶対にできなかったことを、この機会に体験できて受け入れてくれた方には感謝でいっぱいです。これから食事をするときには、どこかで農家の方々が頑張ってくれたおかげで、私たちはおいしいご飯が食べられるということを思い出していこうと思いました。

2年〇組 〇〇 〇〇 さん

（前略）私は二泊三日の農村民泊体験の目的である、“人との関わり”を大事にすることができました。例えば農作業中や犬の散歩の時などに、農家の方と話をしたり、班の人と話をしたりするのはとても楽しくて充実できました。農泊は一日一日が濃くて、思い出をたくさんつくることができました。夜はみんなで星を見た時、本当にプラネタリウムにいるみたいで、流れ星を見ることができました。私は農家の方々が一生懸命育てた野菜や果物をできるだけ残さないにしようと思いました。私は家での手伝いも自分からしようと思います。班の人とも仲良くなって、最高でした。（後略）

2年〇組 〇〇 〇〇 さん

（前略）農泊に行く前までの自分が食事の時に思うことは味についてぐらいだったけれど、農泊に行ってから少し考え方が変わりました。農泊の一日目、農家の方は農業をする前に、食べ物に対する考え方の話をされました。話の内容は、日本の食料自給率や円安などの話をされ、自分が食べる物に今からは興味をもってほしいと言われてから農業体験が始まりました。一日目は芋掘りをしました。かなり大変で結構時間がかかりました。普段何気なく口に入っている芋だけど、その一個を育てて収穫するまでに、たくさん苦労しているんだなと思いました。（中略）これから様々な野菜や肉などを食べて生きていくと思うけれど、誰がどのような努力や苦労をして作ったのかを少しでもいいから考えて食物を食べていきたいです。

2年〇組 〇〇 〇〇 さん

（前略）一日目はレタスを別の土に植え替えました。おじいちゃんから植え方を教えてもらった時、私は「簡単そう」と思いましたが、実際にやってみると気温は高くはないはずなのに汗をかくぐらい暑くなり、足や腰も痛くなって、これを毎日しているということを考えただけで尊敬する気持ちで一杯になりました。（中略）私はこの農泊を通してとても成長したと感じ、農泊実行委員として、そして班長としてもしっかり役目を果たせたかなと思います。今まで人前に立って話すことが苦手でしたが、今ははきはきと言えるようになったので良かったです。そして、何よりも「食」への感謝、人と人との関わり、自然とのふれあいなど、いろいろなことが体験できて勉強になりました。この農泊で学んだことを忘れずに今後の生活で活かしていきたいです。

初めての体験の連続ですので、厳しく感じる活動もあったことでしょう。でも、それだからこそ、「頑張れる自分」や「踏ん張れる自分」に出会える機会となり、達成感ややりがいを感じたのではないのでしょうか。農村の方々と出会い、農業を支える一人の「大人」として生活したこの体験は、さまざまな収穫を2年生の皆さんにもたらしたと思います。

保護者の皆様へ ～今後の予定～

- ・12月1日(木)5・6校時 1年生 能鑑賞教室
- ・12月2日(金)2年生 メンタルヘルス授業
- ・12月6日(火)1～4校時 1・2年生 北九州市学力状況調査
- ・12月7日(水)5・6校時 3年生 クラスマッチ
- ・12月8日(木)放課後 代議専門委員会
- ・12月9日(金)5・6校時 年末大掃除
- ・12月10日(土)10時 家庭教育学級閉級式(筒井市民センター) 合唱部による合唱披露あり
- ・12月14日(水)英語村体験授業 午前2年生、午後1年生
- ・12月16日(金)午後 3年生のみ保護者会(3年給食なし)
- ・12月19日(月)～21日(水)午後 全学年保護者会(給食なし)
- ・12月23日(金)2学期終業式